

03

スポーツ施設
-体育館-

袋井市総合体育館整備及び運営事業

現在の市民体育館は、供用から40年以上が経過し、施設の老朽化が進むとともに、一定の安全性はあるものの耐震性能としては十分でなく、大規模災害時の避難所として利用できない状況であった。

こうしたことから、市内スポーツの拠点施設として、競技スポーツの向上と市民スポーツを通じた交流の活性化を図るとともに、大規模災害発生時には、市の防災拠点施設や指定避難所として使用することを目的に、PFI事業により本施設を整備した。

体育館機能に加え、会議室、研修室、キッズルームを備え、敷地内には大型遊具のある緑地広場やカフェを併設しており、体育館利用者のみならず、様々な目的で幅広い世代が利用できる、地域として魅力を高める施設となっている。

民間事業者の創意工夫により、プレオープン期間の設定による市民へのPRの充実が図られたとともに、休館日を月1回とし、年末年始も営業するなど開館日数の大幅な増加による市民サービスの向上が図られている。



全景



こども広場(大型遊具)



研修室

事業主体

袋井市(静岡県) 人口:約8.6万人(平成27年国勢調査)

事業方式

PFI(BTO方式) 混合型+付帯事業(独立採算)

付帯事業:カフェ

事業期間

平成29年2月~令和17年3月(18年1ヶ月)

契約金額

約62億円

VFM:3.59%(事業者選定時)

施設概要

アリーナエリア、トレーニングエリア、コミュニティエリア、屋外施設(緑地広場、ウォーキングコース等)

SPCの構成企業

代表企業…リース企業

構成企業…建設企業、維持管理企業、運営企業

事業経緯

平成26年3月 袋井市総合体育館整備構想

平成27年4月 袋井市総合体育館基本計画

平成28年1月 実施方針等の公表

平成28年6月 募集要項等の公表

平成28年12月 優先交渉権者の選定

平成29年2月 事業契約等の締結

令和元年12月 プレオープン

令和2年4月 供用開始

